取扱説明書

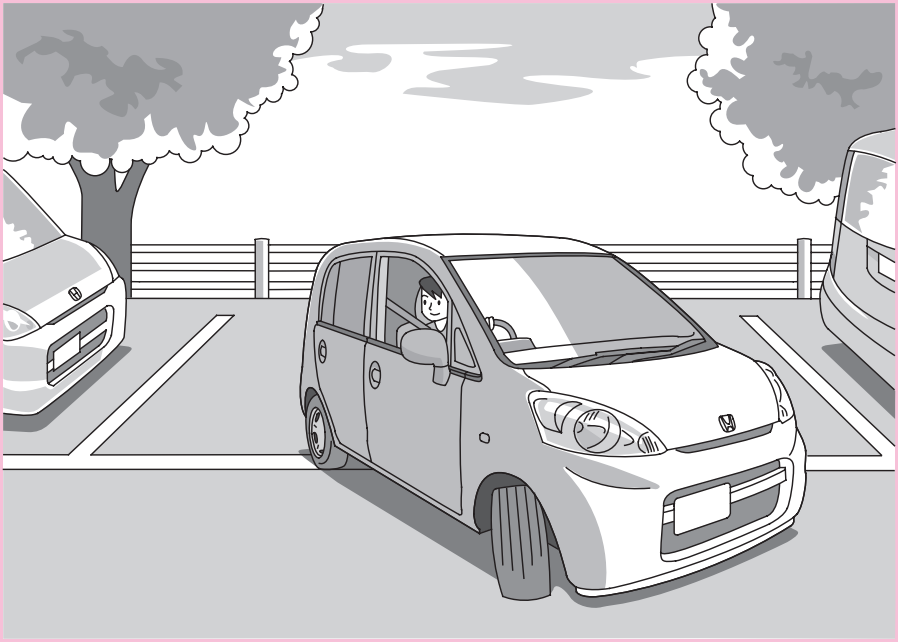
ご使用の前に
よくお読みください。

Life

Honda スマートパーキング アシストシステム

このたびはHonda車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は Life に装備された
Hondaスマートパーキングアシストシステムの取り扱いについて
のみ説明してあります。その他の内容については Life の
取扱説明書をご覧ください。



Hondaスマートパーキングアシストシステムはバック駐車、
縦列駐車時の運転者自身のハンドル操作の負担を
軽減するための運転支援システムです。
運転するときは常に周囲の状況に気をつけて、
安全運転を心がけてください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

⚠警告
指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

⚠注意
指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車のために守っていただきたいこと
（車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています）

知　識
知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

もくじ

Hondaスマートパーキング
アシストシステム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
○Hondaスマートパーキングアシスト
システムについて・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
・システムの作動を停止するとき・・・・・・ 5
○作動について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
・バック駐車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
・縦列駐車・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
○使用に適した場所・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
○取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
・使用に適さない場所・・・・・・・・・・・・・・・・31
・取り扱い上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・32
・システムがスタンバイ状態に
ならないとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
・システムの作動が途中で停止
したとき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
・音量調節のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
・Hondaスマートパーキングアシスト
システム作動表示灯・・・・・・・・・・・・・・38
・Hondaスマートパーキングアシスト
システム警告灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・39

うまく駐車できなかったとき・・・・・・・・・・・・40

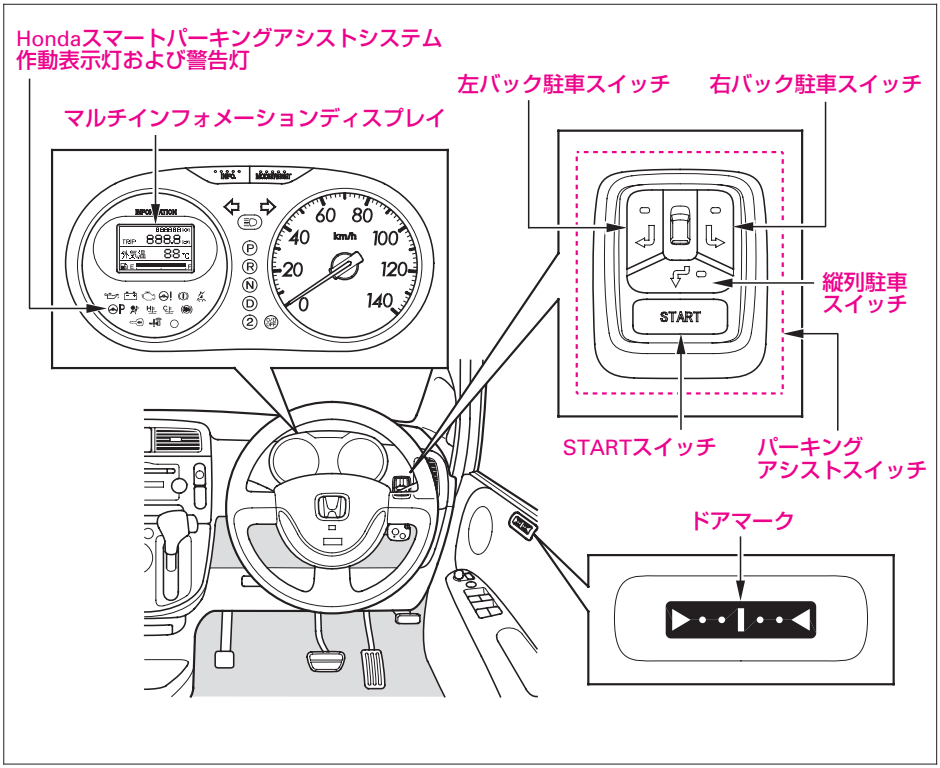
Hondaスマートパーキングアシストシステム

Hondaスマートパーキングアシストシステムについて

Hondaスマートパーキングアシストシステムとは、バック駐車および縦列駐車の際に、運転者が目標駐車位置付近へ駐車するときの運転負担を軽減するためのシステムです。

前進時には、システムが自動でハンドル操作を行い、後退を開始する位置まで誘導します。また、後退時には、運転者のハンドル操作のしかたを音声などで案内します。

Hondaスマートパーキングアシストシステムは、自動駐車システムではありません。



⚠注意

- Hondaスマートパーキングアシストシステムは、駐車時に後退を開始する位置まで前進する際にハンドル操作を支援するものであり、自動駐車システムではありません。車両の前進、後退、ブレーキ操作および後退時のハンドル操作は運転者が行ってください。また、ハンドル操作を支援している間は、次のことに注意してください。
  - ・システムを過信せず、通常の駐車時と同様に、必ず目で周囲の安全を直接確認してください。周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - ・システムの作動中に障害物や人、他の車両等に接触しそうなときは、停車するなどして、運転者自身の操作で回避してください。
- 車両が前進しているときは、ハンドルが自動で回ります。手などが巻き込まれないように注意してください。
- Hondaスマートパーキングアシストシステムの使用に適さない場所では使用しないでください。

使用に適さない場所　→31ページ

- Hondaスマートパーキングアシストシステムの作動が途中で停止したときは、駐車操作をやり直すか、運転者自身の操作で駐車してください。

Hondaスマートパーキングアシストシステムでは、次の駐車モードを選択することができます。

・左バック駐車モード……6
・右バック駐車モード……6
・縦列駐車モード……17

知 識

- Hondaスマートパーキングアシストシステムは、右側の縦列駐車場には対応していません。

●システムの作動を停止するとき

パーキングアシストスイッチのいずれかを押すと、音声案内が流れてシステムの作動が停止します。また、スイッチ内のモード確認表示灯が消灯します。

作動について

●バック駐車

駐車場にバック駐車をする際に、目標駐車位置付近まで次のような運転支援を行います。

①選択した駐車モードおよび、システムの作動開始位置（車両の停車位置）を確認する音声が流れます。

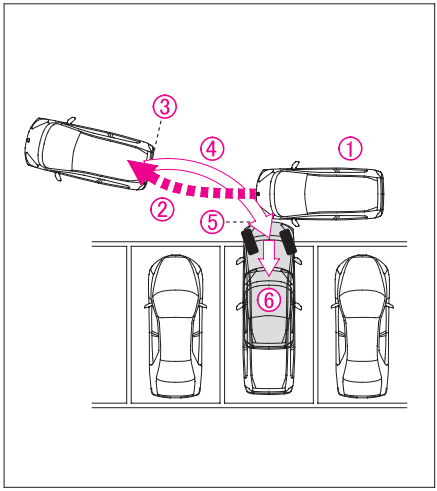
②車両を適切な後退開始位置に誘導するため、前進時に自動でハンドル操作を行います。

③後退開始位置まで車が移動すると、停車位置を音声で案内します。（システムによるハンドル操作が終了）

④停車したときのハンドルの角度を運転車自身が保ちながら、後退するように音声で案内します。

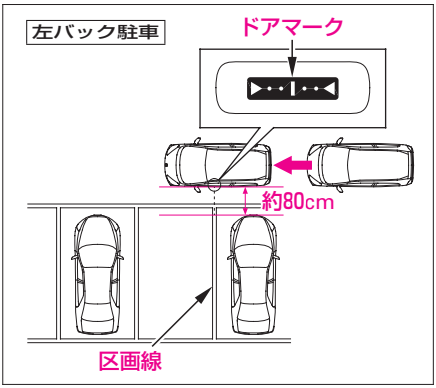
⑤停車位置の手前からブザーの鳴る間隔を短くして予告をし、停車位置および停車後にハンドルを直進位置に戻すように音声で案内します。

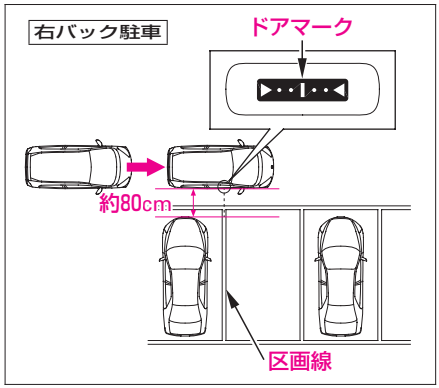
⑥ハンドルを直進位置に戻すとチャイムが鳴り、音声により後退開始の案内を行います。目標駐車位置付近に到達すると、システムの終了を音声で案内します。



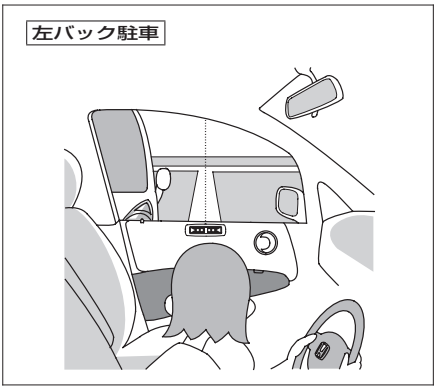
バック駐車のしかた　（左バック駐車モード、右バック駐車モード）

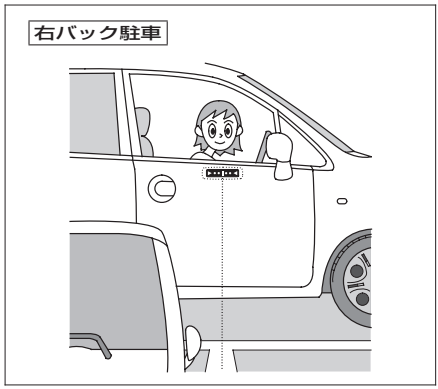
①目標駐車位置の手前に駐車している車両から約80cm離れ、ドアマークの中央を駐車スペースの手前の区画線に合わせて停車します。（システムの作動開始位置）



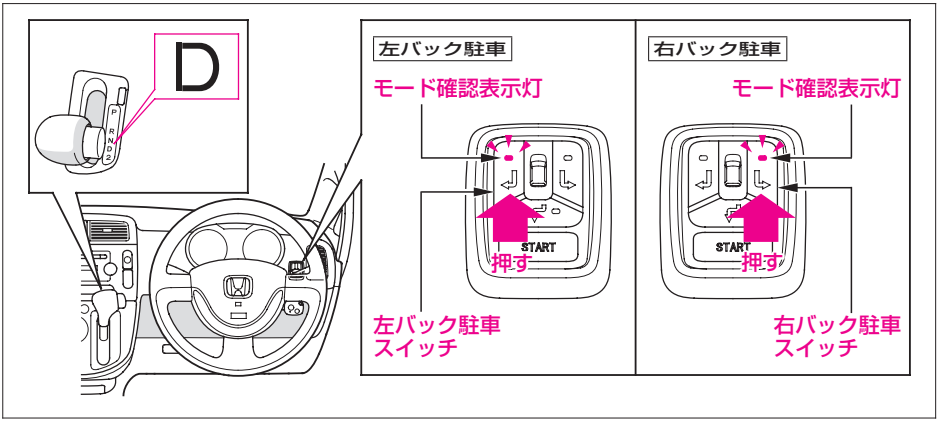


位置合わせをするときは、上体を起こして正面からドアマークを見るようにしてください。





②ブレーキペダルを踏み、セレクトレバーを[D]に入れたまま、左バック駐車スイッチ（または右バック駐車スイッチ）を押します。
システムが“ON”になり、スイッチ内のモード確認表示灯が点灯して、次のような音声案内が流れます。（システム作動のスタンバイ状態）
・選択した駐車モード
・システムの作動開始位置（停車位置）の確認と次の操作の案内



知 識

- システムが“ON”にならないときは、音声案内にしたがった後、再びスイッチを押してください。

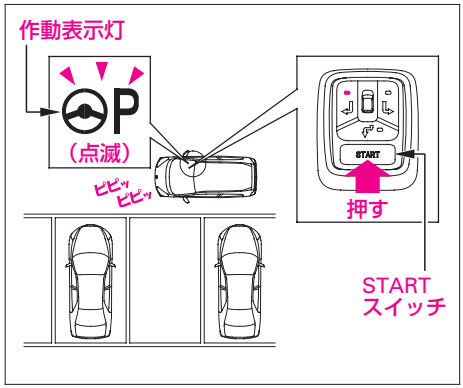
システムがスタンバイ状態にならないとき　→32ページ

- 音声案内の音量を調節することができます。

音量調節のしかた　→37ページ

（手順③以降は、左バック駐車を例として説明します。）

③STARTスイッチを押します。
システムの作動が開始すると、メーター内の作動表示灯（グリーン）が点滅をはじめ、ブザーが“ピピッ”と鳴り続けます。また、前進を促す音声案内が流れます。

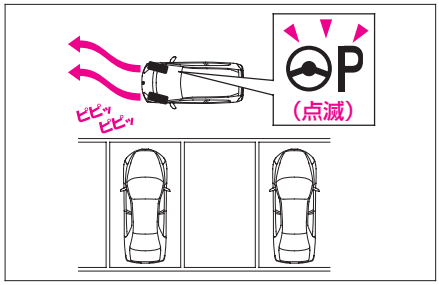


知 識

- STARTスイッチを押してから一定の時間以内に手順③～⑤を完了しなかった場合は、作動表示灯が速く点滅し、ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ります。約10分経過すると、作動表示灯が消灯し、ブザーが“ピー”と鳴ります。また、システムの作動を停止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき　→35ページ

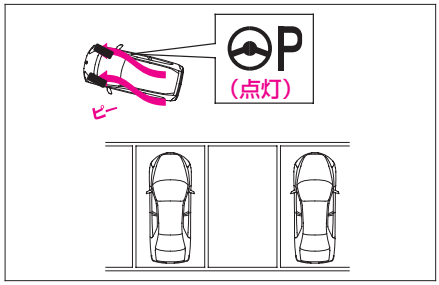
④ハンドルに力がかかり過ぎないように軽く手を添えて、ブレーキペダルで速度を調節しながら、クリープ力で前進します。
前進を始めると、システムがハンドルを自動で右または左に回します。そのとき、音声案内が流れます。



知 識

- 上り坂など、クリープ力で前進することができずに停止したままのときは、作動表示灯が速く点滅し、ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ります。約10秒間停止した状態が続くと、作動表示灯が消灯し、ブザーが“ピー”と鳴ります。また、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。
システムの作動が途中で停止したとき　→35ページ
- 急な上り坂で車両が後退するときは、システムの作動を停止して、運転者自身の操作で駐車してください。
システムの作動を停止するとき　→5ページ
- 前進中に速度が速くなったときは、作動表示灯が速く点滅し、ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ります。また、減速を促す音声案内が流れます。減速せずに車速が約4 km/hを超えると、作動表示灯が消灯し、ブザーが“ピー”と鳴ります。また、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。
システムの作動が途中で停止したとき　→34ページ
- 前進中に経路を大きく逸脱したときは、作動表示灯が速く点滅し、ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ります。また、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。
システムの作動が途中で停止したとき　→35ページ
- 前進中にアクセルペダルを踏んだり、ハンドルに一定以上の力を加えるなどすると、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。
システムの作動が途中で停止したとき　→34ページ

⑤車両が後退開始位置まで移動したら、メーター内の作動表示灯が点滅から点灯に変わり、ブザーが“ピー”と鳴り続けます。
停車指示の音声案内が流れたら、ブレーキペダルを踏んで停車します。停車するとブザーが止まり、システムによるハンドル操作の終了と後退時の操作方法を知らせる音声案内が流れます。

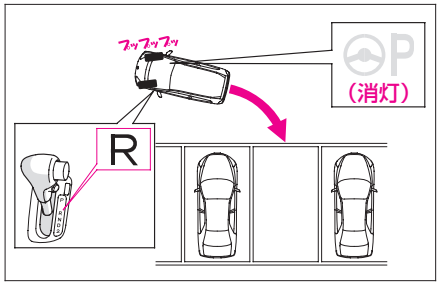


知 識

- 停車指示の音声案内の後に前進を続けると、停車するまで音声案内が連続して流れます。後退開始位置から約1.2mを越えると、作動表示灯が消灯し、ブザーが止まります。また、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき　→35ページ

⑥セレクトレバーを[R]に入れると、メーター内の作動表示灯が消灯し、周囲の安全確認を促す音声案内が流れます。ハンドルが動かないようにしっかりと保持して、ゆっくり後退します。後退中は、“プップップッ”というブザーと、周囲の安全確認を促す音声案内が連続して流れます。



知 識

- セレクトレバーを[R]に入れると、後退位置警報装置のブザーも同時に鳴ります。
- 後退中は車両の特性により、ハンドルが直進状態に戻ろうとするため、ハンドルはしっかりと保持してください。
- 後退中に速度が速くなったときは、減速を促す音声案内が流れます。減速せずに車速が約 8 km/hを超えると、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき →36ページ

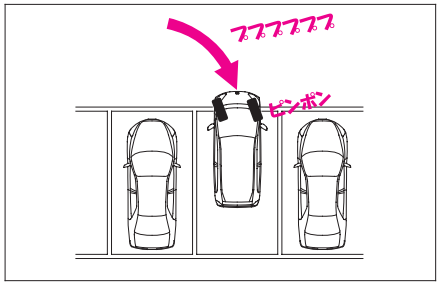
- 急な下り坂で、セレクトレバーを[R]に入れても車両が前進するときは、システムの作動を停止して、運転者自身の操作で駐車してください。

システムの作動を停止するとき →5ページ

- 後退中にハンドルを一定角度以上操作するなどすると、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき →36ページ

⑦車両が停車位置に近づくにつれて、ブザーの間隔が“プププププ”と短くなります。
停車位置に到達して、“ピンポン”とチャイムが鳴ったら、ブレーキペダルを踏んで停車します。
停車すると、ハンドルの操作方法の音声案内が流れます。

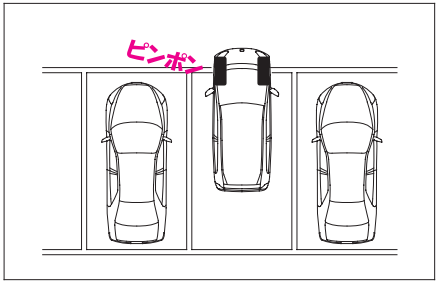


知 識

●停車位置を知らせるチャイムが鳴った後に後退を続けると、システムを終了する音声案内が流れます。運転者自身の操作で駐車してください。

システムの作動が途中で停止したとき →36ページ

⑧停車したままハンドルを操作し、ハンドルが直進位置になると“ピンポン”とチャイムが鳴ります。チャイムが鳴ったら、ゆっくりと後退します。

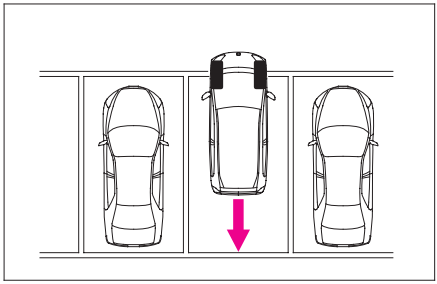


知 識

●チャイムが鳴った後にハンドルを操作すると、システムを終了する音声案内が流れます。運転者自身の操作で駐車してください。

システムの作動が途中で停止したとき →36ページ

⑨目標駐車位置付近に到達すると、システムの終了を知らせる音声案内が流れます。
駐車したい場所まで後退したら、ブレーキペダルを踏んで停車します。
パーキングブレーキをかけて、セレクトレバーを[P]に入れてから、エンジンを止めます。

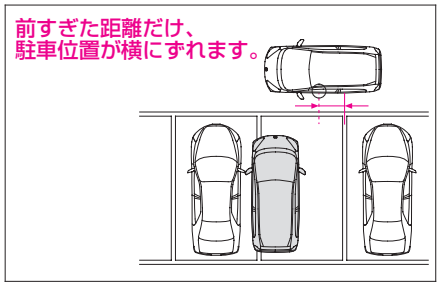


知 識

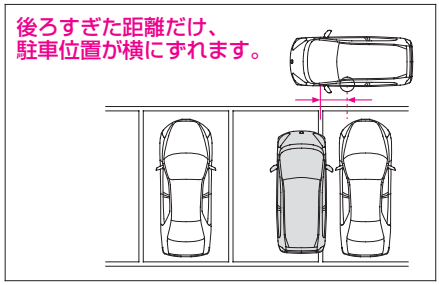
- システムの作動開始位置の位置合わせは正しく行ってください。正しく位置合わせがされていないと、目標駐車位置に誘導できないことがあります。

位置合わせのしかた →7ページ

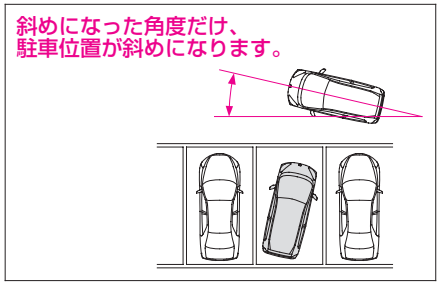
・前すぎたとき。



・後ろすぎたとき。

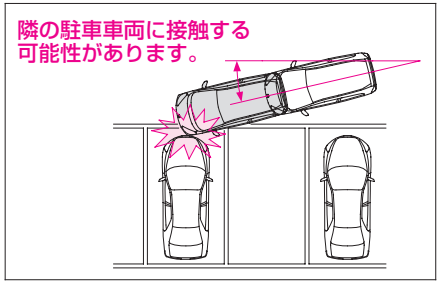


・斜め(外向き)のとき。

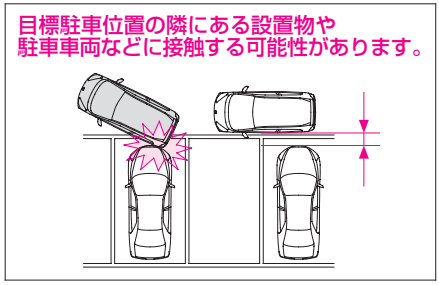


知 識

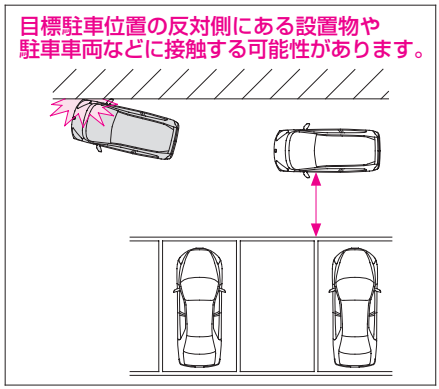
・斜め(内向き)のとき。



・駐車車両に近寄りすぎたとき。



・駐車車両から離れすぎたとき。



●縦列駐車

縦列駐車をする際に、目標駐車位置付近まで次のような運転支援を行います。

①選択した駐車モードおよび、システムの作動開始位置(車両の停車位置)を確認する音声が流れます。

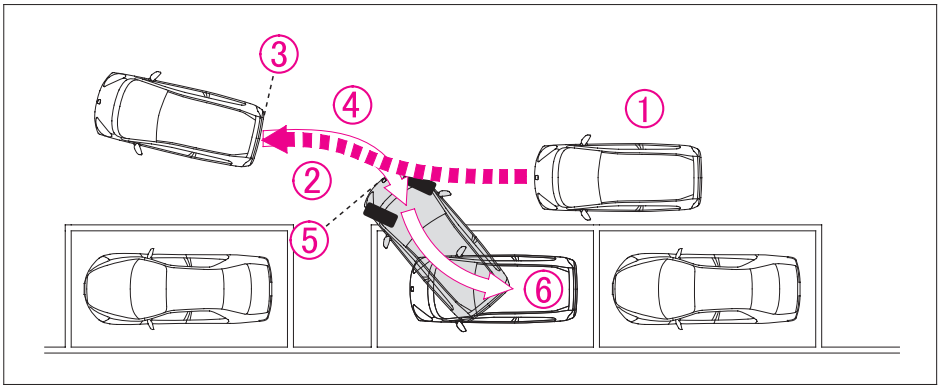
②車両を適切な後退開始位置に誘導するため、前進時に自動でハンドル操作を行います。

③後退開始位置まで車が移動すると、停車位置を音声で案内します。(システムによるハンドル操作が終了)

④停車したときのハンドルの角度を運転者自身が保ちながら、後退するように音声で案内します。

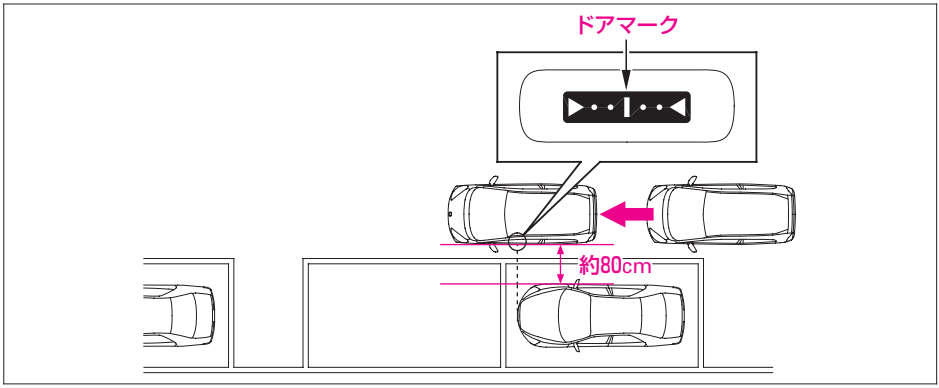
⑤ハンドルの切り返し位置の手前からブザーの鳴る間隔を短くして予告をし、停車位置および停車後にハンドルを右いっぱいに回すように音声で案内します。

⑥ハンドルを右いっぱいに回すとチャイムが鳴り、音声により後退開始の案内を行います。目標駐車位置付近に到達すると、システムの終了を音声で案内します。

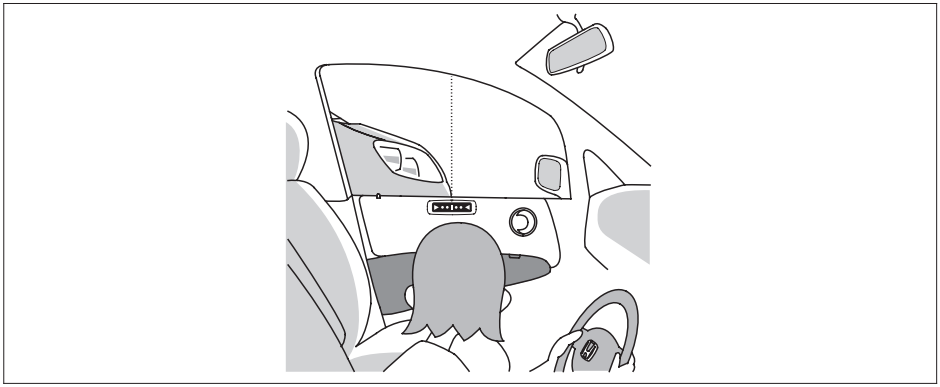


縦列駐車のしかた （縦列駐車モード）

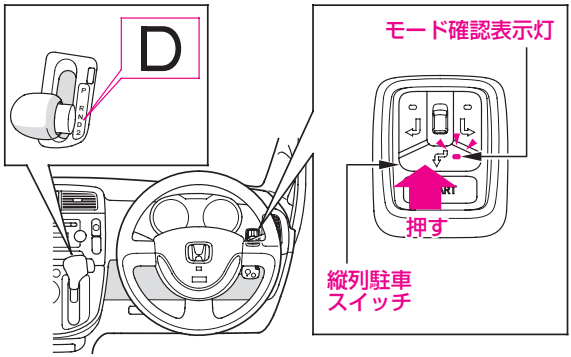
①目標駐車位置の手前に駐車している車両から約80cm離れ、ドアマークの中央を駐車車両の前端に合わせて停車します。（システムの作動開始位置）



位置合わせをするときは、上体を起こして正面からドアマークを見るようにしてください。



②ブレーキペダルを踏み、セレクトレバーを⊡に入れたまま、縦列駐車スイッチを押します。
システムが“ON”になり、スイッチ内のモード確認表示灯が点灯して、次のような音声案内が流れます。（システム作動のスタンバイ状態）
・選択した駐車モード
・システムの作動開始位置（停車位置）の確認と次の操作の案内



知 識

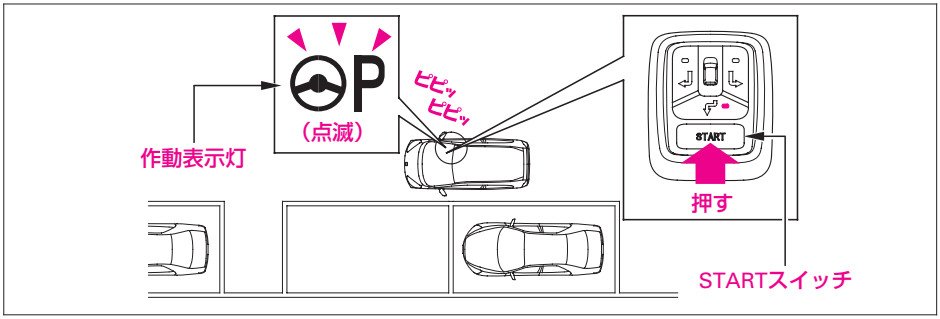
- システムが“ON”にならないときは、音声案内にしたがった後、再びスイッチを押してください。

システムがスタンバイ状態にならないとき →32ページ

- 音声案内の音量を調節することができます。

音量調節のしかた →37ページ

③STARTスイッチを押します。
システムの作動が開始すると、メーター内の作動表示灯（グリーン）が点滅をはじめ、ブザーが“ピピッ”と鳴り続けます。また、前進を促す音声案内が流れます。

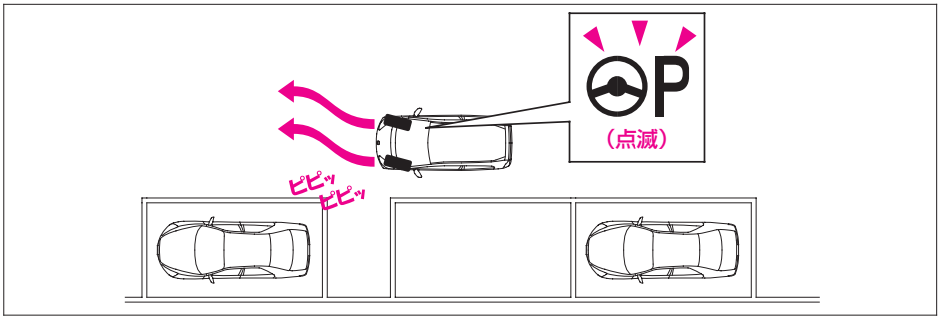


知 識

- STARTスイッチを押してから一定の時間以内に手順③～⑤を完了しなかった場合は、作動表示灯が速く点滅し、ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ります。約10分経過すると、作動表示灯が消灯し、ブザーが“ピー”と鳴ります。また、システムの作動を停止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき　→35ページ

④ハンドルに力がかかり過ぎないように軽く手を添えて、ブレーキペダルで速度を調節しながら、クリープ力で前進します。
前進を始めると、システムがハンドルを自動で右および左に回します。そのとき音声案内が流れます。



知 識

- 上り坂など、クリープ力で前進することができずに停止したままのときは、作動表示灯が速く点滅し、ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ります。約10秒間停止した状態が続くと、作動表示灯が消灯し、ブザーが“ピー”と鳴ります。また、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき →35ページ

- 急な上り坂などで車両が後退するときは、システムの作動を停止して、運転者自身の操作で駐車してください。

システムの作動を停止するとき →5ページ

- 前進中に速度が速くなったときは、作動表示灯が速く点滅し、ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ります。また、減速を促す音声案内が流れます。減速せずに車速が約4 km/hを超えると、作動表示灯が消灯し、ブザーが“ピー”と鳴ります。また、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき →34ページ

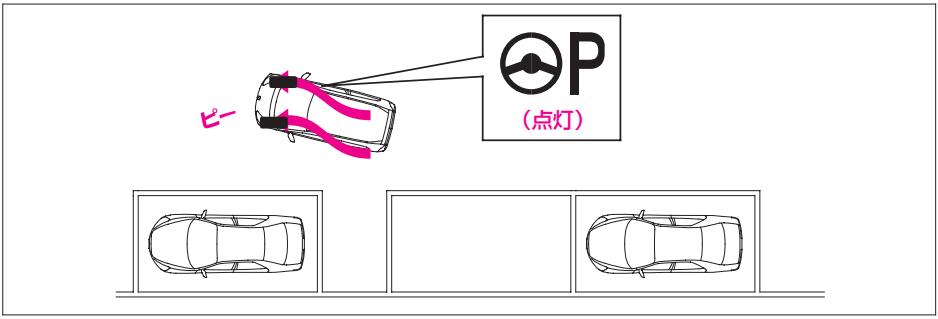
- 前進中に経路を大きく逸脱したときは、作動表示灯が速く点滅し、ブザーが“ピピピピ･･･”と鳴ります。また、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき →35ページ

- 前進中にアクセルペダルを踏んだり、ハンドルに一定以上の力を加えるなどすると、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき →34ページ

⑤車両が後退開始位置まで移動したら、メーター内の作動表示灯が点滅から点灯に変わり、ブザーが“ピー”と鳴り続けます。
停車指示の音声案内が流れたら、ブレーキペダルを踏んで停車します。停車するとブザーが止まり、システムによるハンドル操作の終了と後退時の操作方法を知らせる音声案内が流れます。

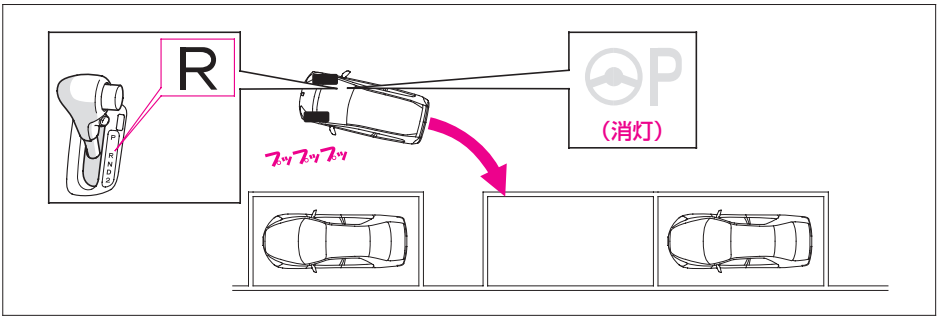


知 識

- 停車指示の音声案内の後に前進を続けると、停車するまで音声案内が連続して流れます。後退開始位置から約2 mを越えると、作動表示灯が消灯し、ブザーが止まります。また、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき　→35ページ

⑥セレクトレバーを[R]に入れると、メーター内の作動表示灯が消灯し、周囲の安全確認を促す音声案内が流れます。ハンドルが動かないようにしっかりと保持して、ゆっくり後退します。後退中は、“プップップッ”というブザーと、周囲の安全確認を促す音声案内が連続して流れます。



知 識

- セレクトレバーを[R]に入れると、後退位置警報装置のブザーも同時に鳴ります。
- 後退中は車両の特性により、ハンドルが直進状態に戻ろうとするため、ハンドルはしっかりと保持してください。
- 後退中に速度が速くなったときは、減速を促す音声案内が流れます。減速せずに車速が約 8 km/hを超えると、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき →36ページ

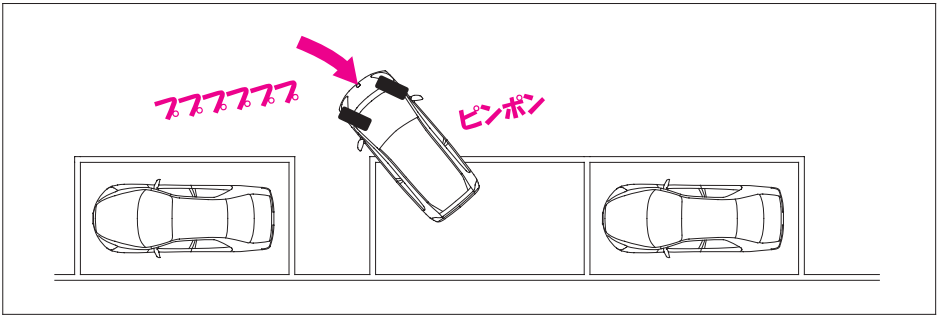
- 急な下り坂で、セレクトレバーを[R]に入れても車両が前進するときは、システムの作動を停止して、運転者自身の操作で駐車してください。

システムの作動を停止するとき →5ページ

- 後退中にハンドルを一定角度以上操作するなどすると、システムの作動を中止する音声案内が流れて、システムの作動が停止します。

システムの作動が途中で停止したとき →36ページ

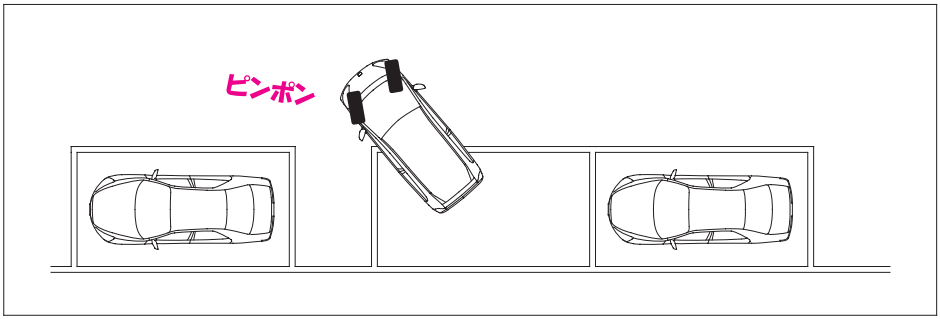
⑦車両がハンドルの切り返し位置に近づくにつれて、ブザーの間隔が“プププププ”と短くなります。ハンドルの切り返し位置に到達して、“ピンポン”とチャイムが鳴ったら、ブレーキペダルを踏んで停車します。
停車すると、ハンドルの操作方法の音声案内が流れます。



知 識

- ハンドルの切り返し位置を知らせるチャイムが鳴った後に後退しすぎてしまったときは、音声案内にしたがって、ハンドルが動かないようにしっかりと保持したまま前進してください。切り返し位置に到達すると、“ピンポン”とチャイムが鳴りますので、ブレーキペダルを踏んで停車します。

⑧停車したままハンドルを操作し、ハンドルが右いっぱいになると“ピンポン”とチャイムが鳴ります。チャイムが鳴ったら、ゆっくりと後退します。

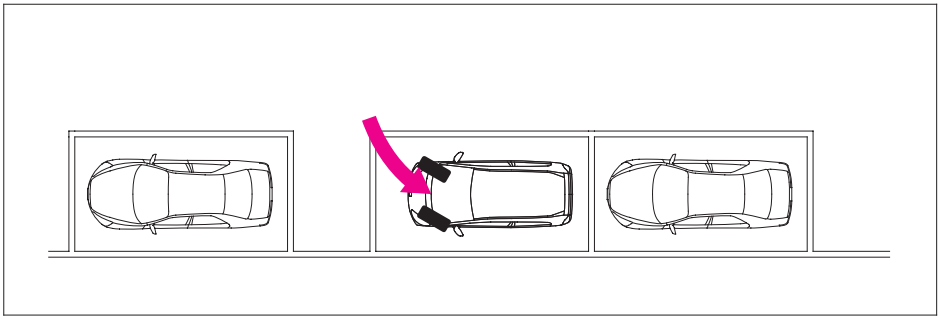


知 識

●チャイムが鳴った後にハンドルを操作すると、システムを終了する音声案内が流れます。運転者自身の操作で駐車してください。

システムの作動が途中で停止したとき →36ページ

⑨目標駐車位置付近に到達すると、システムの終了を知らせる音声案内が流れます。駐車したい場所まで後退したら、ブレーキペダルを踏んで停車します。必要に応じてハンドルを直進位置に戻してください。
パーキングブレーキをかけて、セレクトレバーを[P]に入れてから、エンジンを止めます。

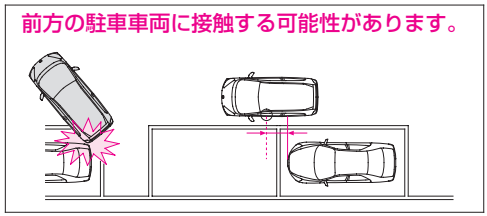


知 識

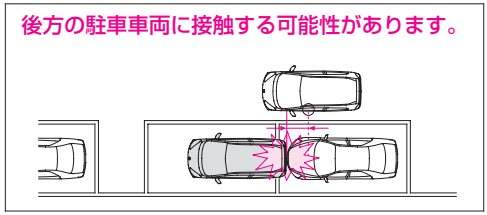
- システムの作動開始位置の位置合わせは正しく行ってください。正しく位置合わせがされていないと、目標駐車位置に誘導できないことがあります。

位置合わせのしかた →18ページ

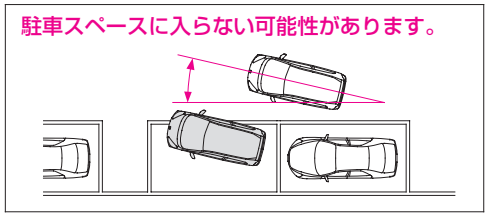
・前すぎたとき。



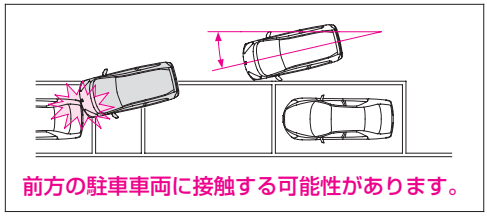
・後ろすぎたとき。



・斜め(外向き)のとき。

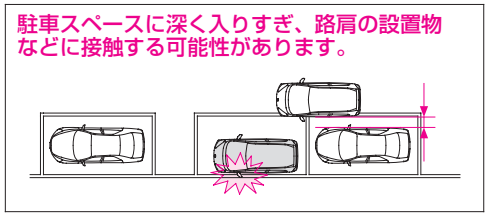


・斜め(内向き)のとき。

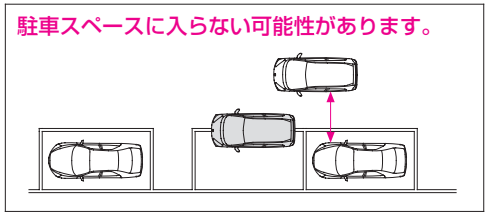


知 識

・駐車車両に近寄りすぎたとき。



・駐車車両から離れすぎたとき。

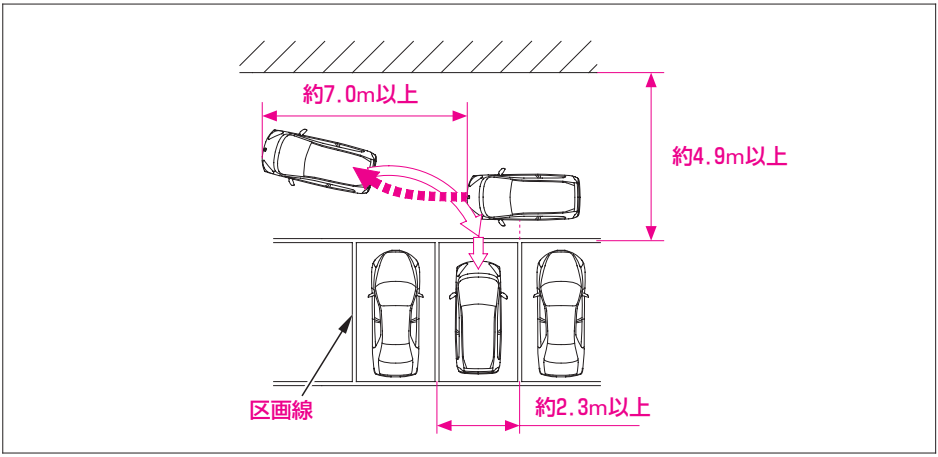


・切り返しのタイミングが遅かったとき。

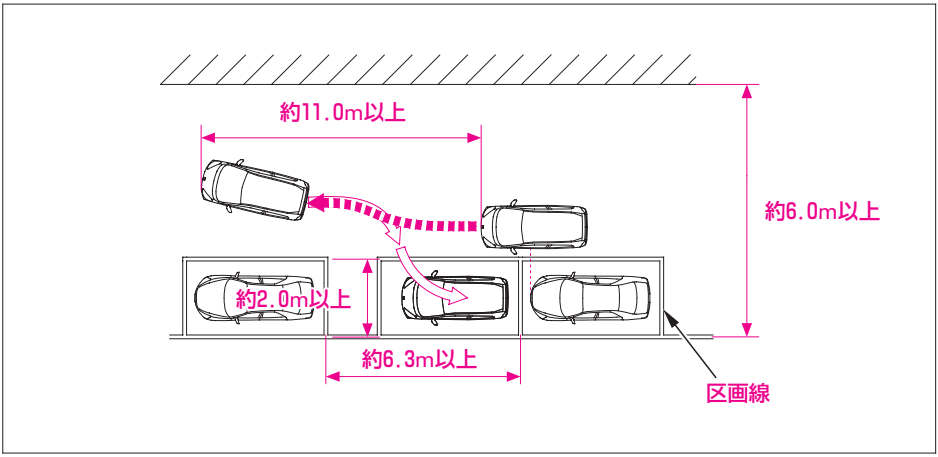
使用に適した場所

Hondaスマートパーキングアシストシステムは、このような場所で使えます。

バック駐車



縦列駐車

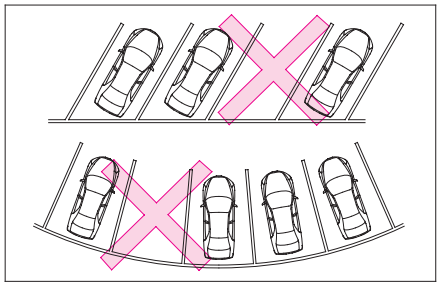


知 識

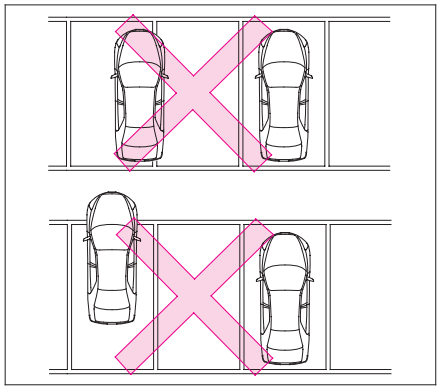
●駐車スペースの形状、周囲の状況がこのようなときには、Hondaスマートパーキングアシストシステムを使用しないでください。（下記は一例です）

バック駐車

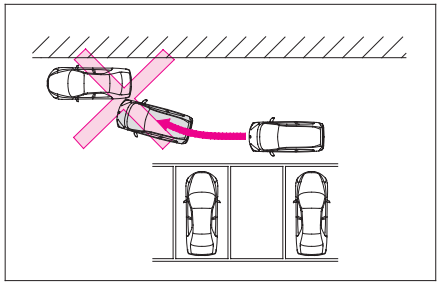
・駐車スペースが斜めのとき。



・周囲の駐車車両が駐車スペースからはみ出しているとき。



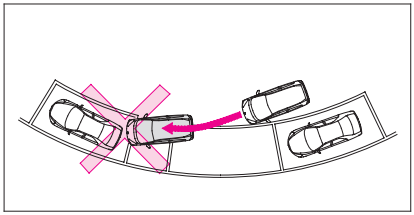
・前進する方向に障害物があるとき。



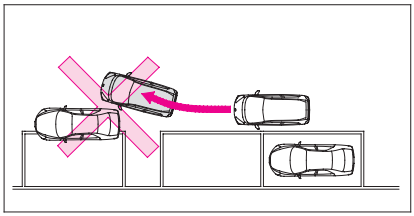
知 識

縦列駐車

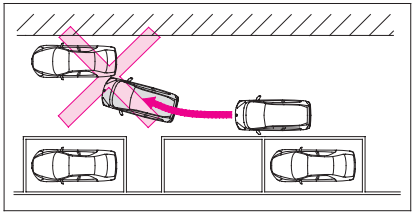
・駐車スペースが斜めのとき。



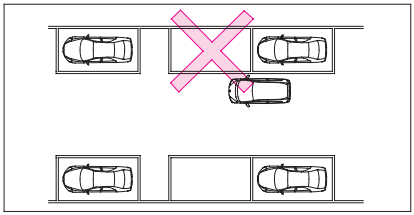
・周囲の駐車車両が駐車スペースからはみ出しているとき。



・前進する方向に障害物があるとき。



・右側の縦列駐車場
Hondaスマートパーキングアシストシステムは右側の縦列駐車場には対応していません。

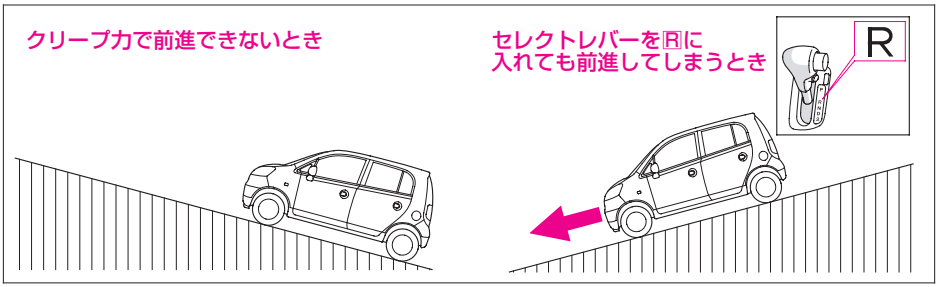


取り扱いについて

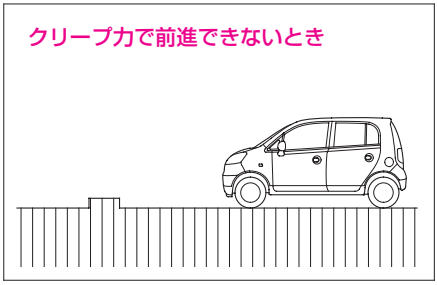
●使用に適さない場所

Hondaスマートパーキングアシストシステムは、このような場所では使用しないでください。

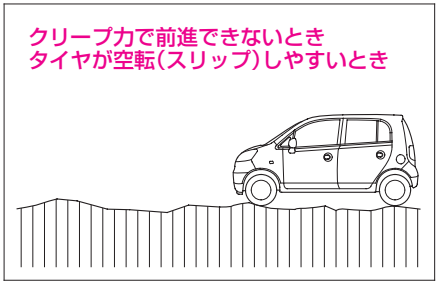
・傾斜している場所



・段差のある場所

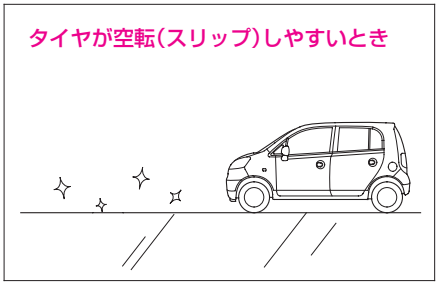


・舗装されていない場所



・雪が積もっている場所

・凍結している場所



●取り扱い上のご注意

次のようなときは、目標駐車位置に駐車できないことがあります。

・タイヤの空気圧が指定空気圧に調整されていないとき。
・指定サイズ以外のタイヤを装着しているとき。
・タイヤが著しく摩耗しているとき。
・冬用タイヤを装着しているとき。

タイヤチェーンまたは応急用スペアタイヤを使用しているときは、Hondaスマートパーキングアシストシステムを使用しないでください。

●システムがスタンバイ状態にならないとき

スイッチを押してもハンドルやアクセルペダルを操作するなどして、Hondaスマートパーキングアシストシステムがスタンバイ状態にならないときは、音声案内で知らせます。次の対処のしかたを参考にして、システムを“ON”(スタンバイ状態)にしてください。システムが“ON”(スタンバイ状態)にならないと、モード確認表示灯は点灯しません。

音声ガイド	ブザー	原因	対処のしかた	参照ページ
初期設定が完了していません。ハンドルを左右いっぱいにきってください。	なし	エンジンスイッチが“0”または“I”のときにハンドルを回した。	ハンドルを左右に1回転以上回してから直進状態に戻し、再度スイッチを押してください。	8、19
タイヤの向きがまっすぐであることを確認して、もう一度選択してください。	なし	エンジンを始動してすぐにスイッチを押した。(エンジン始動直後は、タイヤの向きを検知できないため、システムがスタンバイ状態になりません。)	タイヤの向きが直進状態であることを確認して、再度スイッチを押してください。	

音声ガイド	ブザー	原因	対処のしかた	参照ページ
ハンドルをまっすぐにして力を抜いて、もう一度選択してください。	なし	ハンドルが直進状態になっていない、またはハンドルに一定以上の力が加わっている。	ハンドルをまっすぐにして力を抜いてから、再度スイッチを押してください。	8、19
ハンドルが右(左)に1回転きれています。まっすぐにしてもう一度選択してください。	なし	ハンドルが右(左)に1回転以上回っている。	ハンドルを回してタイヤの向きを直進状態にして、再度スイッチを押してください。	
シフトレバーをドライブにしてもう一度選択してください。	なし	セレクトレバーがD以外の位置にある。	セレクトレバーをDにして、再度スイッチを押してください。	
ブレーキを踏んでもう一度選択してください。	なし	ブレーキペダルを踏んでいない。	ブレーキペダルを踏みながら、再度スイッチを押してください。	
アクセルが操作されているので使用できません。	なし	ブレーキペダルを踏みながらアクセルペダルを操作している。	アクセルペダルから足を離し、再度スイッチを押してください。	
停車して使用してください。	なし	走行している。(車速が約7 km/hを超えると、音声案内は行いません。)	停車して、再度スイッチを押してください。	
キャンセルします。選択スイッチからやり直してください。	なし	ハンドルを操作した。	システムの開始の条件を整えて停車位置を確認してから、再度スイッチを押してください。	
		走行した(約1 m以上)。		
		セレクトレバーを動かした。		
		アクセルペダルを操作した。		

●システムの作動が途中で停止したとき

Hondaスマートパーキングアシストシステムの作動中に、ハンドルを操作したり、パーキングアシストスイッチを押すなどしてシステムの作動が途中で停止したときは、音声案内やブザーで知らせます。次の対処のしかたを参考にして駐車操作をやり直すか、運転者自身の操作で駐車してください。
スイッチ内のモード確認表示灯およびメーター内の作動表示灯はシステムの作動が停止すると消灯します。

前進しているとき

音声ガイド	ブザー	原因	対処のしかた	参照ページ
中止します。アクセルが操作されました。	ピー	アクセルペダルを操作した。	位置合わせからやり直してください。 または、運転者自身の操作で駐車してください。	10、21
中止します。ハンドルに力が加わりました。	ピー	ハンドルに一定以上の力が加わった。 （システムが自動でハンドルを操作することができません。）	位置合わせからやり直してください。（ハンドルから力を抜いて、軽く手を添えた状態で使用してください。） または、運転者自身の操作で駐車してください。	
中止します。速度が高すぎました。	ピー	車速が約 4 km/hを超えた。	位置合わせからやり直してください。（速度調節はブレーキペダルで行ってください。） または、運転者自身の操作で駐車してください。	

音声ガイド	ブザー	音声ガイド	対処のしかた	参照ページ
中止します。シフトレバーが操作されました。	ピー	セレクトレバーをDから他の位置に動かした。	位置合わせからやり直してください。 または、運転者自身の操作で駐車してください。	10、21
中止します。この環境では使用できません。	ピー	上り坂など、クリープ力で前進できない。	運転者自身の操作で駐車してください。	
		STARTスイッチを押してから約10分経過した。	位置合わせからやり直してください。 または、運転者自身の操作で駐車してください。	9、20
中止します。正しく誘導できません。	ピー	舗装されていない場所などでタイヤが空転（スリップ）しやすい、またはハンドルが制御できないとき。	運転者自身の操作で駐車してください。	10、21
中止します。停車位置を通りすぎました。	ピー	後退開始位置（停車位置）を一定距離以上通りすぎた。 ・バック駐車‥約1.2m ・縦列駐車‥‥約2.0m	位置合わせからやり直してください。 または、運転者自身の操作で駐車してください。	11、22
中止します。システムの異常です。	ピッ※	システムの異常。	運転者自身の操作で駐車してください。 お早めにHonda販売店で点検を受けてください。	39
キャンセルします。選択スイッチからやり直してください。	ピー	パーキングアシストスイッチを操作した。	位置合わせからやり直してください。 または、運転者自身の操作で駐車してください。	5

※：システムが異常のときには、同時にメーター内の警告灯が点灯します。

後退しているとき

音声ガイド	ブザー	原因	対処のしかた	参照ページ
中止します。ハンドルが動きました。	なし	ハンドルが約90度以上回転した。	運転者自身の操作で駐車してください。 または、位置合わせからやり直してください。	12、23
中止します。シフトレバーが操作されました。	なし	セレクトレバーをRから他の位置に動かした。	運転者自身の操作で駐車してください。 または、位置合わせからやり直してください。	
中止します。速度が高すぎました。	なし	車速が約 8 km/hを超えた。	運転者自身の操作で駐車してください。 または、位置合わせからやり直してください。	
周囲の安全を確認して駐車を完了させてください。音声案内を終了します。	なし	**バック駐車** 1回目のチャイムが鳴った後に、後退を続けた。	運転者自身の操作で駐車してください。	13
		2回目のチャイムが鳴った後に、ハンドル操作をした。	運転者自身の操作で駐車してください。	14、25
中止します。システムの異常です。	なし※	システムの異常。	運転者自身の操作で駐車してください。 お早めにHonda販売店で点検を受けてください。	39
キャンセルします。選択スイッチからやり直してください。	なし	パーキングアシストスイッチを操作した。	運転者自身の操作で駐車してください。 または、位置合わせからやり直してください。	5

※：システムが異常のときには、同時にメーター内の警告灯が点灯します。

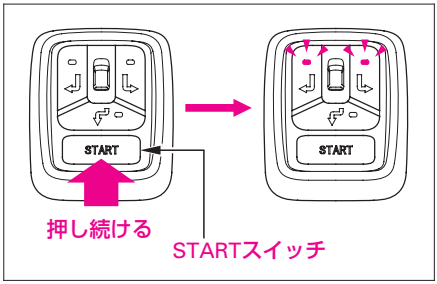
●音量調節のしかた

音声ガイドやブザー、チャイムの音量を調節することができます。音量は音量1から4と音量最大の5段階に設定できます。（工場出荷時は音量3に設定されています。）

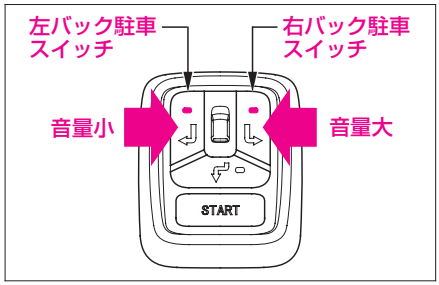
知 識

- 前進中のブザーの音量を調節することはできません。

①パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
②エンジンを始動します。
③STARTスイッチを約3秒押し続けると、左右のバック駐車スイッチのモード確認表示灯が点滅を始め、“音量設定モードです。”という音声案内が流れます。



④左バック駐車スイッチ、右バック駐車スイッチを押して音量を調節します。スイッチを押すごとに、設定音量を知らせる音声案内が流れます。



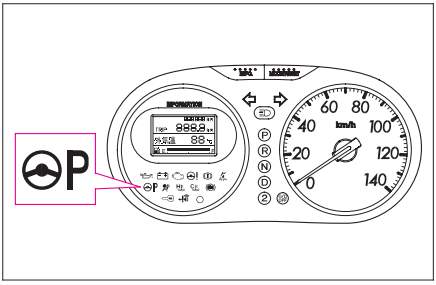
⑤設定する音量を選択したら、STARTスイッチを押します。“音量設定しました。”という音声案内が流れ、設定が終了します。

知 識

- セレクトレバーがNでも調節できますが、安全のためにセレクトレバーをPにして行ってください。
- 音量設定の操作中に次の操作をすると、音量は変更されずに、音量設定モードが解除されます。
  - セレクトレバーをP以外にしたとき。
  - エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”にしたとき。

●Hondaスマートパーキングアシストシステム作動表示灯（Hondaスマートパーキングアシストシステム警告灯兼用）

メーター内に組み込まれており、Hondaスマートパーキングアシストシステムが作動して、システムが自動でハンドル操作を行っているときにグリーンで点滅または点灯します。同時にブザーが鳴ります。



システムの作動状態により、作動表示灯の点滅、点灯のしかたは次のように変わります。

・通常時

作動表示灯	ブザー	状態
遅い点滅	ピピッ	システムが自動でハンドル操作を行っている
点灯	ピ――	後退開始位置（停車位置）に到達した

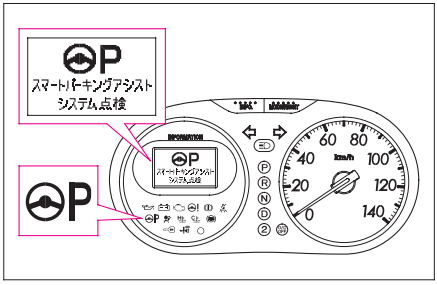
・目標駐車位置に誘導できなくなるおそれがあるとき

作動表示灯	ブザー	状態
速い点滅	ピピピピ･･･	システムによるハンドル制御ができなくなる可能性がある場合
消灯	ピー	システムの作動が停止した

●Hondaスマートパーキングアシストシステム警告灯（Hondaスマートパーキングアシストシステム作動表示灯兼用）

メーター内に組み込まれており、Hondaスマートパーキングアシストシステムが異常のときにオレンジ色で点灯します。
また、マルチインフォメーションディスプレイに“スマートパーキングアシストシステム点検”と表示されます。
警告灯が点灯したときは、運転者自身の操作で駐車してください。

システムが自動でハンドル操作を行っているときに点灯した場合は、同時に“ピッ”とブザーが鳴ります。



エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、エンジン始動後に消灯するのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
  - ・運転中に点灯したとき。
  - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいはエンジン始動後数秒経過しても消灯しないとき。

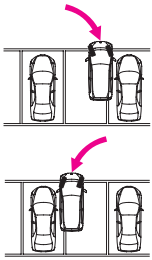
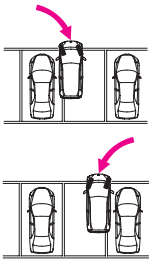
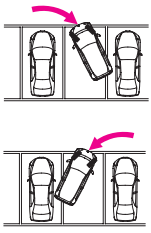
知 識

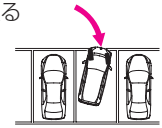
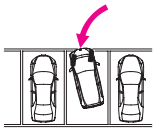
- システムの作動中に点灯したときは、システムの異常を知らせる音声ガイドが流れて、システムの作動が停止します。

うまく駐車できなかったとき

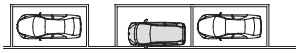
目標駐車位置にうまく駐車できないときには、次のような原因が考えられますので、対処のしかたを参考にして、確認してください。
それでもうまく駐車できないときは、Hondaスマートパーキングアシストシステムの故障の可能性があります。使用を中止して、Honda販売店で点検を受けてください。

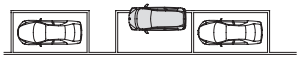
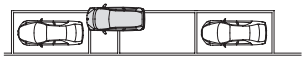
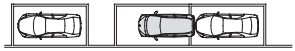
●バック駐車

状態	考えられる原因	対処のしかた	参照ページ
・外側に膨らむ 	システム作動開始位置が後ろすぎていませんか。	正しく位置合わせをしてください。	7
	後退時にハンドルが動いていませんか。	後退中はハンドルをしっかりと握り、角度を保ってください。	12
	車両が動いているときにハンドルを直進位置に戻していませんか。	ハンドルを直進位置に戻すときは、“ピンポン”のチャイムが鳴ったら停車して行ってください。	13
・内側に入る 	システム作動開始位置が前すぎていませんか。	正しく位置合わせをしてください。	7
	後退時にハンドルが動いていませんか。	後退中はハンドルをしっかりと握り、角度を保ってください。	12
・斜め外側に入る 	システム作動開始位置が斜めになっていませんか。	駐車スペースに直角に停車してください。	7
	車両が動いているときにハンドルを直進位置に戻していませんか。	ハンドルを直進位置に戻すときは、“ピンポン”のチャイムが鳴ったら停車して行ってください。	14

状態	考えられる原因	対処のしかた	参照ページ
・斜め内側に入る 	システム作動開始位置が斜めになっていませんか。	駐車スペースに直角に停車してください。	7
	“ピンポン”のチャイムが鳴った後に、後退を続けていませんか。	“ピンポン”のチャイムに合わせて停車してください。	13

●縦列駐車

状態	考えられる原因	対処のしかた	参照ページ
・奥に入る 	システム作動開始位置が駐車車両側に寄りすぎていませんか。	正しく位置合わせをしてください。	18
	後退時にハンドルが動いていませんか。	後退中はハンドルをしっかりと握り、角度を保ってください。	23
	“ピンポン”のチャイムが鳴った後に、後退を続けていませんか。	“ピンポン”のチャイムに合わせて停車してください。	24
	車両が動いているときにハンドルを右いっぱいに回していませんか。	ハンドルを右いっぱいに回すときは、“ピンポン”のチャイムが鳴ったら停車して行ってください。	25
	ハンドルを右いっぱいまで回していますか。	ハンドルは“ピンポン”のチャイムを目安に右いっぱいまで回してください。	

状態	考えられる原因	対処のしかた	参照ページ
・浅く入る 	システム作動開始位置が離れすぎていませんか。	正しく位置合わせをしてください。	18
	システム作動開始位置が斜めになっていませんか。		
	後退時にハンドルが動いていませんか。	後退中はハンドルをしっかりと握り、角度を保ってください。	23
・前に駐車している車両に近づきすぎる 	システム作動開始位置が前すぎていませんか。	正しく位置合わせをしてください。	18
	システム作動開始位置が左側に寄りすぎていませんか。		
	システム作動開始位置が斜めになっていませんか。		
・後ろに駐車している車両に近づきすぎる 	システム作動開始位置が後ろすぎていませんか。	正しく位置合わせをしてください。	
	システム作動開始位置が斜めになっていませんか。		
	“ピンポン”のチャイムが鳴った後に、後退を続けていませんか。	“ピンポン”のチャイムに合わせて停車してください。	24
	ハンドルを右いっぱいまで回していますか。	ハンドルは“ピンポン”のチャイムを目安に右いっぱいまで回してください。	25

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9：00～12：00　13：00～17：00
〒351-0188　埼玉県和光市本町 8 － 1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

①車検証記載事項
　車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
②車種名、タイプ名、走行距離
③ご購入年月日
④販売店名

HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

30SFAX00
00X30-SFA-X000

Ⓨ Ⓗ Ⓒ 8000.2006.08.7
ⓒ2006 本田技研工業株式会社